

「みどりの食料システム戦略」理解促進に向けた多様な取組

みどりの食料システム戦略推進のため、グループ認定の紹介動画作成、消費者アンケート実施、有機農業のイベント参加、学生との意見交換により、多方面での理解醸成を目指す。

○ **施策分類** みどりの食料システム戦略、食育、その他

○ **きっかけ・背景、課題の把握**

みどりの食料システム戦略に掲げる「目指す姿」を実現するためには、すべての関係者の理解醸成が重要と捉え、多様な取組を実施した。

○ **取組の内容**

(1) グループ認定されたJA岩手ふるさとと連携し、認定に至るまでの経緯を動画にまとめ、優良事例としてホームページで公開。

(2) 岩手県消費者団体連絡協議会と連携し、これまで全国各地で実施されている同様のアンケートの内容に変更を加え、消費者向け「有機農産物に関するアンケート」を実施。

(3) 盛岡大学において、学生を4グループに分け「有機農産物を消費者に効果的にPRするにはどうするか？」等をテーマにグループ討議を実施。各グループに職員も加わり、活発な意見交換が行われた。

(4) 有機栽培に取り組む農業者が主催する「有機農業の日」イベントに参加し、来場者にみどりの食料システム戦略関連のリーフレットを配布。

○ **効果・成果、今後の方向性**

動画、アンケート結果、学生の考えたPR方法（有機農産物をPRする映像を店内で流す等）等を活用し、今後も全ての関係者に向けみどりの食料システム戦略に関する理解醸成を図る。



グループ認定の紹介動画



学生との意見交換

体制図

(1)グループ認定紹介動画作成 (2)有機農産物の意識調査

